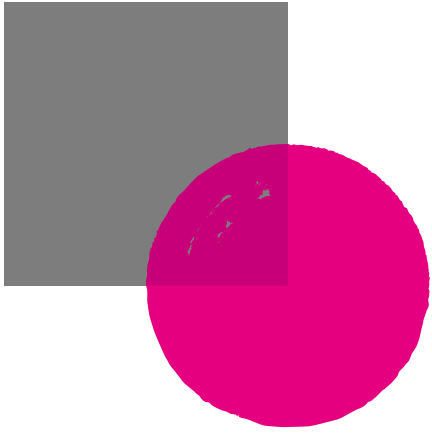


青森県基本計画

未来を変える挑戦

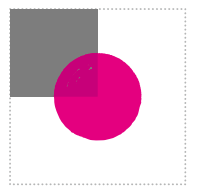
～ 強みをとことん、課題をチャンスに～

Aomori Prefectural Government Master Plan
Changing the Future of Aomori
Breakthrough Innovation



これが「青森県基本計画 未来を変える挑戦」のシンボルマークです。
左上のグレーの四角は、青森県の抱える課題も含めた様々な素材を、真ん中の赤い丸は、本県の強みや価値が結集した姿を表しています。
グレーの四角を赤い丸に磨き上げていく、つまり強みや価値であふれる青森県に変えていくということが、計画の基本コンセプトである「強みをとことん、課題をチャンスに」を表現しています。

また、このコンセプトのもと、みんなの力でめざす姿に変えていくことを表現するために、赤い丸はフリーハンドで描いています。
そして、このシンボルマークにはもう一つの顔があります。四角と丸以外の部分を見ると、青森県の姿が見えてきますが、中央の赤い丸が日本をイメージさせることから、日本の中の青森県、世界に価値を発信していく青森県となり、世界の中で、ジャパンブランドとともに「青森ブランド」を確立していく取組のシンボルとなるものです。



課題先進県から イノベーション先進県へ

「課題先進県」。まだ馴染みのない言葉かもしれませんが、大きな課題を抱えつつも、そのことが逆に成長の可能性を秘めているという本県の状況を表した言葉です。

本県は、他県よりも速いスピードで人口減少が進んでいるほか、平均寿命が短いことなど大きな課題を抱えていますが、そうした課題に全国に先駆けて直面し、対応していかなければならないということは、発想を転換すると、むしろ全国に先駆けてそうした課題を克服するチャンスに恵まれていると言えます。

そしてこれらの課題は、課題自体を成長のチャンスと捉え、前向きに取り組んでいくことで克服できると考えます。そのためには、既存のモノ、仕組みなどに対して、全く新しい技術や考え方を取り入れて新たな価値を生み出し、社会的に大きな変化をもたらす変革、言い換えると、課題解決を通して地域が成長していく課題解決型イノベーションを進めていくことが必要です。こうした課題解決型イノベーションを進めることにより、課題先進県である本県は、課題を克服する変革、イノベーションの先進県になっていくのです。

※イノベーション 既存のモノ、仕組みなどに対して、全く新しい技術や考え方を取り入れて新たな価値を生み出し、社会的に大きな変化をもたらす変革のことです。

青森県の強み

一方、本県には課題だけではなく、強みもたくさんあります。「攻めの農林水産業」を進めた結果、農商工連携や6次産業化、食産業の進展が見られ、「食の王国」青森県が形成されつつあるほか、保健・医療・福祉分野では医工連携による産業の芽生えがあり、また、豊かな自然を活用した環境・エネルギー分野では風力発電を始めとして産業創出の可能性が大きいといった強みもあります。

強みをとことん、課題をチャンスに

県ではこれまでも、県が重点的に進むべき方向性を定め、それを県民のみなさんと共有してともに歩んでいくための基本計画（「生活創造推進プラン（平成16～20年度）」、「青森県基本計画 未来への挑戦（平成21～25年度）」）を策定して取り組んできました。その取組の成果である青森県の強みを更に伸ばしていくとともに、本県が抱える課題を克服していくために、いま新たに、平成26年度からスタートする「青森県基本計画 未来を変える挑戦」を策定しました。この計画では、「強みをとこ

めざす姿

とん、課題をチャンスに」という基本コンセプトを掲げ、本県が持つ強みとことん伸ばすとともに、本県が抱える課題に対し、この先も変わらないというムードを払拭し、解決可能で伸びしろの大きい「成長のチャンス」と前向きに捉えることで、青森県の未来を県民自らの力で「めざす姿」に変えていくこととしています。

新しい計画では将来の青森県の「めざす姿」を、「青森県の生業と生活が生み出す価値が世界に貢献し広く認められている状態」、言い換えれば「世界が認める『青森ブランド』の確立」を買ってよし、訪れてよし、住んでよしの「青森県」と掲げています。

県では、この「青森ブランド」を確立して、本県の未来をより良いものに変えていくために、部局・分野を横断して全庁一丸となつて取り組むこととしています。しかし、真の「青森ブランド」を確立していくためには、県民のみなさん一人ひとりが、青森県の魅力と価値を認め、チャレンジしていくことがその第一歩となるのです。青森県の未来を変える第一歩を一緒に踏み出しましょう。